

健康社会研究センター ニューズレター 第 33 号

2014. 1. 22 発行

◆ 目次 ◆

- 1 プレスリリース
- 2 主な研究成果発表
- 3 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

1 プレスリリース

・被災地におけるソーシャル・キャピタル研究に米国 NIH の研究助成が決定 (2013 年 11 月)

健康社会研究センターは、JAGES (Japan Gerontological Evaluation Study, 日本老年学的評価研究) プロジェクトの一環として宮城県岩沼市におけるソーシャル・キャピタル研究プロジェクト (岩沼プロジェクト) に取り組んできました。このたび米国国立衛生研究所 (NIH) から同プロジェクトに対し研究費が助成されることになりました。採択された研究課題は「Impact of social cohesion on functional recovery after earthquake and tsunami」(東日本大震災後の機能回復に及ぼす社会的つながりの効果) です。健康社会研究センターと研究協定を締結しているハーバード大学公衆衛生大学院の Ichiro Kawachi 教授や東北大学との共同研究で、本学が日本側の事務局を担います。

詳細はこちら→ <http://cws.umin.jp/press-releases/045.pdf>

2 主な研究成果発表

<論文等>

- ① 岡田栄作, 近藤克則: 社会疫学から見るストレスとストレス反応. *Surgery Frontier* 20(4): 47-51, 2013. 12
- ② 中板育美, 近藤克則, 山本昌江, 松田正己: (新春座談会) 健康格差縮小に挑む. *地域保健* 45(1): 10-35, 2014. 1
- ③ 近藤克則: (基調講演) 健康の社会的決定要因を考える～健康格差と社会環境の「見える化」～. *健康管理* 61(1): 4-27, 2014. 1
- ④ 松本大輔, 近藤克則, 白石成明, 杉山統哉, 鄭丞媛: 脳卒中患者における早期リハビリテーション実施状況とリハビリテーション提供体制との関連性—入院曜日を考慮した分析での検討—. *理学療法学* 41(1) (印刷中) 2014. 2
- ⑤ 林尊弘, 近藤克則, 山田実, 松本大輔: 転倒者が少ない地域はあるか—地域間格差と関連要因の検討—. *JAGES プロジェクト. 厚生*の指標 61 (印刷中)
- ⑥ 伊藤大介, 近藤克則, 伊藤美智予: 介護者の認知症者に対する接し方の変化に関する研究—ケアマネジメントのプロセスとの関連—. *社会福祉学* 54(3), (印刷中)

<学会等 (JAGES 関係) >

- ① 平井寛, 尾島俊之, 近藤尚己, 齊藤雅茂, 近藤克則, 鈴木佳代, 三澤仁平: 種類別の運動的趣味実施と所得・教育・都市度との関連の検討. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013. 10. 24, 三重
- ② 松本大輔他: 豪雪地域と非豪雪地域における転倒要因の違い. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013. 10. 24, 三重
- ③ 山田実他: BMI (Body mass index) と転倒・転倒発生場所特性との関係. 第 72 回日本公衆衛生学会総会, 2013. 10. 24, 三重
- ④ 林尊弘他: 転倒歴とスポーツ組織への参加との関係—市町村別の転倒割合にも着目して—. 第 72 回日本公衆

衛生学会総会, 2013. 10. 24, 三重

- ⑤ 中尾公一：震災復興とソーシャル・キャピタル～岩沼市のケーススタディ～. 日本 NPO 学会第 5 回震災特別フォーラム, 2013. 9. 14, 東北大学

<その他>

健康社会研究センターが開発した「介護予防 Web アトラス」が、閣議決定（2013 年 6 月 7 日, p23 など）『介護・医療関連情報の「見える化」の推進』のモデルとして、厚生労働省の資料の中（スライド 15）で紹介されました。

* 閣議決定資料「科学技術イノベーション総合戦略～新次元日本創造への挑戦～」はこちら↓

http://www.kantei.go.jp/jp/kakugikettei/2013/_icsFiles/afiedfile/2013/06/20/20130607-01.pdf

* 老健局資料「介護・医療関連情報の『見える化』の推進について」はこちら↓

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/hukushi_kaigo/kaigo_koureisha/osirase/hokenjigyoyou/06/dl/3.pdf

<講演等>

- ① 国際シンポジウム「日本における健康格差と『健康の社会的決定要因』 - 社会疫学研究の到達点と課題 - . 名古屋国際会議場, 2013. 12. 8
<記念講演>
Ichiro Kawachi : Income Inequality and Health.
<シンポジウム>
近藤克則：健康社会センター（CWS）開設後の展開.
斉藤雅茂：AGES（愛知老年学的評価研究）プロジェクト縦断研究の到達点.
相田潤：ソーシャルキャピタル研究の到達点
尾島俊之：JAGES プロジェクトの到達点～実践活動と政策への貢献～
近藤尚己：JAGES HEART（Health Equity Assessment and Response Tool）による「見える化」の到達点：
健康格差のモニタリングを中心に.
- ② 近藤克則：（総合討論）医療における最新トピック. 日本福祉大学・延世大学 第 8 回日韓定期シンポジウム「日本と韓国の医療・福祉における新たな課題と展望」, 名古屋都市センター, 2013. 11. 30

3 学会・シンポジウム・研究会等のお知らせ

- ① 平成 25 年度 地域保健活動関係職員研修
近藤克則：公衆衛生におけるソーシャルキャピタル醸成支援と地域診断に基づく保健活動.
【日程】2014 年 1 月 24 日（金）
【会場】仙台市
- ② 南生協よってって横丁着工まつり記念講演
近藤克則：ささえあい たすけあい まじりあいのまちづくりの先に見えるもの
【日程】2014 年 2 月 15 日（土）14 : 00-16 : 30
【会場】コープ健診フィットネスセンター3 階
※2015 年 4 月南大高駅前に南生協よってって横丁が誕生します.
詳細はこちら→ <http://www.minami.or.jp/introduction/yokochou/index.html>
- ③ 日本福祉大学終末期ケア 2013 年度公開研究会「終末期ケアの評価を考える—質の高い看取りを目指して—」
近藤克則：終末期ケアの質の評価とマネジメント
【日程】2014 年 3 月 1 日（土）13 : 30-17 : 00
【会場】日本福祉大学名古屋キャンパス南館 4 階（定員 80 名）

④ [第 39 回日本脳卒中学会総会](#)

近藤克則：社会経済的リスク要因. シンポジウム1「脳卒中の新しい危険因子」

【日程】2014年3月13日（木）

【会場】大阪国際会議場

- ・ JAGES 研究会今後の予定 ※変更になることがあります.
 - ・ 2月11日（火）東京大学本郷キャンパス
 - ・ 3月9日（日）日本福祉大学名古屋キャンパス

ニューズレター第33号の発行にご協力いただきましてありがとうございました。

今後とも当センターへのご支援をよろしくお願い申し上げます。

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせ・情報提供はこちら<k-manami@n-fukushi.ac.jp
(泉)>までお知らせください（ご連絡の際は*を@に変更して下さい）。

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元：健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

このメールは、国際シンポジウム「健康の社会的決定要因—社会疫学の可能性」（2009年3月14日開催）及び、『健康の社会的決定要因』を巡る国際的動向（2011年12月23日開催）、国際ワークショップ「社会疫学と老年学における国際共同研究の可能性」（2012年1月8日開催）にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています。